

環境SDGs・脱炭素を カードゲームで学びませんか

■ ご案内

地球温暖化を防止するために、温室効果ガスを2030年までに半減、2050年までに実質ゼロにしなければなりません。そこで、群馬県公認「環境SDGsファシリテーター」が運営する「脱炭素まちづくりカレッジ」により、楽しく環境SDGs・脱炭素について学びませんか。各種研修や学びの機会にご活用ください。

■ 脱炭素まちづくりカレッジとは？

- ✓ 気候危機や脱炭素の基礎知識レクチャー
- ✓ 2030年の温室効果ガス排出量50%削減にチャレンジするカードゲーム
- ✓ ゲームから得た学びや気づきを共有する対話の時間
などを実施するプログラムです。（上記は基本的なメニューです）



基礎知識レクチャーの様子



学びや気づきを共有する様子



カードゲームの様子

■ 環境SDGsファシリテーターとは？

県民等に環境意識の醸成や地域環境課題の解決に向けた行動を促進する進行役です。

ファシリテーターの中には、『SDGs芸人 アンカンミンカン 富所哲平』氏や『エフエム群馬 内藤聡』氏、『あかぎ団』など「ぐんま特使」の方々や県内プロスポーツチーム等、20名（団体含む）がおります。

■ こんな方におすすめ!

- ・ 気候危機や脱炭素は色々なところで聞くけど、正直あまりよく分かっていない
- ・ 気候変動対策や脱炭素化の取組に興味はあるけど、なんだか難しそう
- ・ 具体的な脱炭素アクションを何から初めていいのか学びたい etc.



詳細・お申込みはこちら ↑

⚠️ 留意事項（必ずご確認ください）

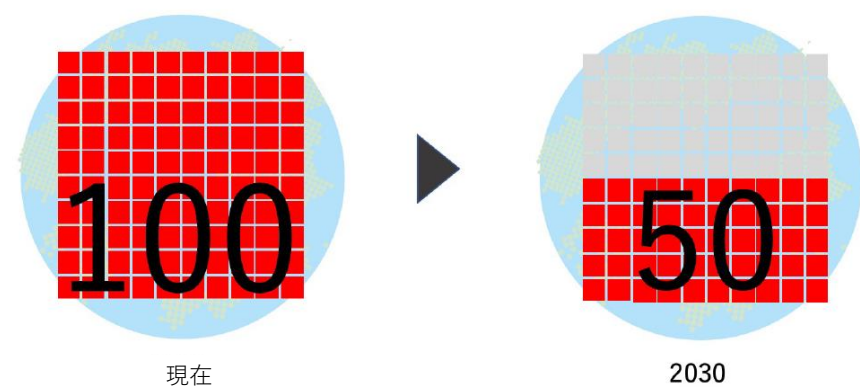
- ✓ 脱炭素まちづくりカレッジはファシリテーターが運営します。
（群馬県環境政策課ではございません）
- ✓ 基本的な「脱炭素まちづくりカレッジ」の所要時間はおおむね3時間程度です。
- ✓ カードゲームを実施する場合、参加人数は20名～40名が好ましいです。
- ✓ 開催にあたり費用が生じる場合があります。
- ✓ 投影機器（プロジェクター等）や会場をご準備いただく必要があります。

ご不明な点は、下記までお問い合わせください

群馬県 環境森林部 環境政策課 環境政策係
電話：027-226-2821
メール：ecosusumu@pref.gunma.lg.jp

Q.「脱炭素まちづくりカレッジ」とは何ですか？

A. 2030年までに地域全体の温室効果ガス排出量の半減に向けて、様々なプロジェクト実施にチャレンジするシミュレーションカードゲームです。

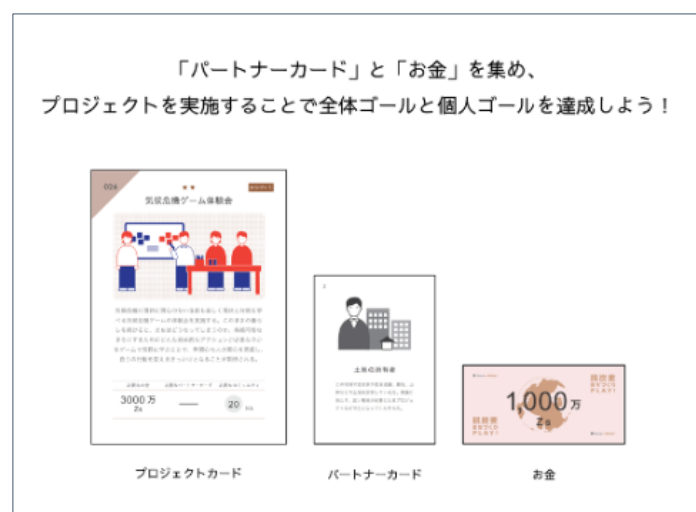
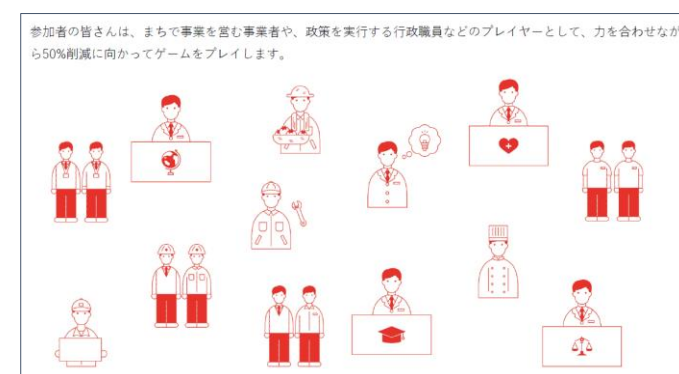


危機的な未来を避けるために、プレイヤー全員で、このまちの温室効果ガス排出量を50%削減することがゲームの目的です。

Q.カードゲームの流れを教えてください。

A.

- ①参加者の皆さんは、まちで事業を営む事業者や、政策を実行する行政職員など20種類のプレイヤーの中から、1つの役割を演じます。2030年までに、地域全体の温室効果ガス排出量の半減と自分の目標の達成を目指すゴールです。
- ②ゴール達成に向けて、様々な脱炭素プロジェクトを実施します。プロジェクト実施に向けて、他のプレイヤーと資金や人的ネットワーク、情報を交換しながらプレイします。
- ③プロジェクトの中には、排出量が大幅削減につながるもの、逆に増えてしまうもの（トラップ）もあります。
- ④排出量の状況に応じて、地域には「大規模災害」「食糧危機」「感染爆発」など、気候変動による負の影響が生じることもあります。



プロジェクト実施に必要なリソース

プロジェクト実施



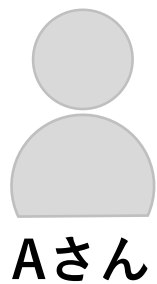
他のプレイヤーと資金や人的ネットワーク、情報を交換しながらプレイ



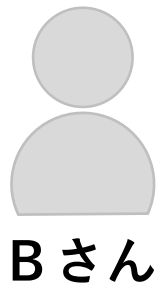
目標達成に向けて次のプロジェクトを実施

※限られたターンの中で、参加者と協働し全体目標・個人目標の達成にチャレンジしよう！

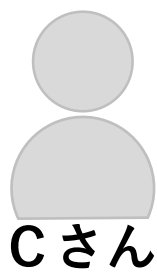
参加者からの声



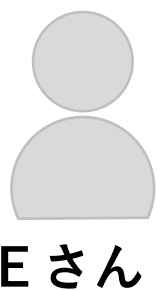
S D G sにはあまり関心がなかったが、ちょっとした気づきと行動を心がけることで大きな成果が出てくるのだと思った。座学だけでなくゲームによる研修で理解が深まった。



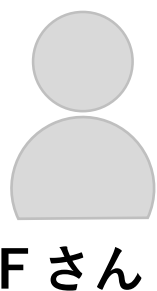
環境保護や脱炭素について、他人事ではなく自分事として考えていかなければならないものと感じた。



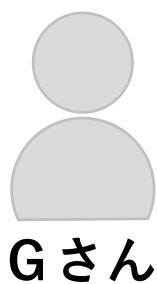
私は普段ここまで考えることがなかったので、今回の学習を通してS D G sのことをもう1度考え直すことができた。自分たちが住んでいる世界を救うためには1人ひとりの意識が必要だと改めて感じた。普段から地球のことを考え、いい環境、いい地球になるように、ほんの小さな取組でも実践したいと思った。例えば、できるだけ自転車に乗るなど自分にできることをしていきたい。



顔を合わせるのが初めての同期が、頭だけでなく手を動かしながら目標を達成しようとしたことで、早々に緊張が解け連帯感が強まったと感じた。



自らよく考え、積極的に意見を出し、行動することで、自分自身も変えられるし周囲も変えられると思った。



これまでの生活で環境が大変だということは分かっていたり見聞きすることはあっても、それを意識した過ごし方はあまりできていなかったもので、改めて普段から気をつけたり、意識してできることをしていけないなと考えさせられた。

このようなゲーム形式でやると、理解しやすかったり楽しみながらより先を読んで動くこと、協力することもしながら自分にできることを考えて動いたりできて面白いなと思った。

環境 SDGs・脱炭素まちづくりファシリテーター 2022

環境 SDGs、脱炭素、気候変動などをテーマにした脱炭素まちづくりカレッジ（研修・勉強会・ワークショップ）の開催依頼を、県民・団体・企業の皆様からの受け付けています。お住まいの地域やプログラムの対象に合わせて、下記のファシリテーターに直接ご連絡、もしくは info@issueplusdesign.jp までご連絡ください。



村山 祐太郎

特定非営利活動法人 グレート群馬ネットワーク
gunmagfive@gmail.com



岩崎 重国

アックスラーニング / 群馬県環境アドバイザー
渋川市
shige92@gmail.com



尾崎 望良

太陽誘電ソルフィュー
n-ozaki@jty.yuden.co.jp



柿沼 紫保里

太田イオンチアーズクラブ
太田市
climate.change.issueplusdesign@gmail.com



金子 詩乃

群馬県環境アドバイザー
高崎市
mameshiro@live.jp



川岸 祐輔

ザスパクサツ群馬
前橋市
kawagishi@thespa.co.jp



小森 すみれ

共愛学園前橋国際大学
前橋市
komori21@c.kyoai.ac.jp



佐藤 公彦

群馬銀行グリーンウィングス
前橋市・高崎市
Masahiko01.Satou@gunmabank.co.jp



柴田 よし江

群馬県こどもエコクラブ イオンスタイル高崎 イオンチアーズクラブ
高崎市・榛東村
shibata-yos@aeonpeople.biz



下条 啓貴

アサヒ飲料株式会社
前橋市・高崎市
hiroki.shimojo@asahiinryo.co.jp



下田 香絵

株式会社良品計画群馬事業部
前橋市・高崎市
kaes@muji.co.jp



群馬県のご当地アイドル あかぎ団 (担当: 庄司 翼)

ぐんま特使 群馬県のご当地アイドル あかぎ団 -AKAGIDAN-
前橋市 (群馬県全域)
g.akagidan@oriental-j.com



角田 正基

群馬県地球温暖化防止活動推進員
前橋市
yorozuyarekunosuke@gmail.com



富所 哲平

群馬県住みます芸人アンカンミンカン
群馬県
matsukaze823@yahoo.co.jp



内藤 聡

株式会社エフエム群馬
sn1@mail.fmgunma.com



西村 豊

群馬県環境アドバイザー
太田市
nitta807@gmail.com



牧山 沙弥香

群馬クレインサンダーズ
太田市
sayaka.makiyama@openhouse-group.com



森 さやか

ビックカメラ高崎ビーキューン
tsutsumi@biccamera.com



森田 稔

ダイヤモンドベガサス
morita@itoi-shoji.co.jp



吉田 眞(マックン)

株)ハブマーシー
群馬県
nakamura@havmercy.co.jp